

# NEXT21自然のたより

## 2012年8月



No. 8

2012 年 8 月 3 日

### 1. エコロジカル ガーデン 冬→夏

NEXT21 の 象 徴  
エコロジカルガー  
デン、初春の景色  
は石組で守られた  
光り輝く谷川でし  
た。

それから5カ月、今  
の季節は木々の緑  
で流れが見え隠れ  
する、涼しい溪流の  
風情を醸し出して  
いる。



## 2. ヒヨドリの巣立ちビナ

### 1. 昨年はエコロジカルガーデンで

3月下旬号で、エコロジカルガーデンに昨年ヒヨドリが作った古巢のあることを紹介した。今年はこの古巢を利用しなかったもので、どこか違う所に！と期待していました。



### 2. 7/24 屋上庭園にヒヨドリの巣立ちビナ



7/24 夕方、「NEXT21 自然のたより」にふさわしい主題を求め、空中街路6Fから、屋上庭園を見上げていると、尾の短い鳥が「よ

たよた」した感じで西側から東側へ飛びました。

キリの木に休んでいたのは、巣立ち直後で尾の伸びていないヒヨドリの巣立ちビナ、15分ほどじっとしていましたが、親鳥の声に誘われコナラの樹冠に消えました。

ヒナが1羽のみだったかどうか確認できませんでしたが、他所から飛んでくるだけの飛行能力があると思えませんので、NEXT21 屋上庭園で生まれたことは間違いないと思われる。

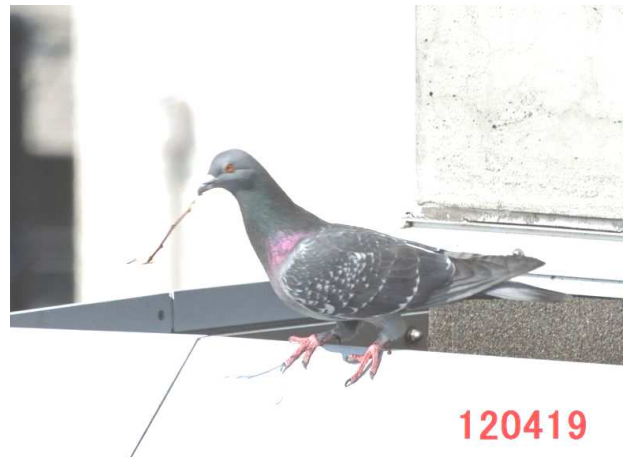


### 3. ドバト(カワラバト)

#### 1. ドバトの巣材集め

ドバトは欧州などが原産地のカワラバトを、愛玩用・伝書鳩用に家禽化された外来種、公園では普通にいるが、日本産野鳥として認められていない。

ドバトは木の小枝を組み合わせた巣を床に作るが、NEXT21 屋上庭園を頻繁に訪れ、小枝を咥(くわ)えて持ち帰っていた。巣材用小枝は、屋上庭園周囲の雨水用ダクト、下の階への落ち口に張られた金網に、溜まった小枝の中から、巣材用の小枝を拾っていた。



#### 2. 巣材集めの頻度は最大 9回／10 分

7/2 ドバトが良く訪れるので、小枝を咥えて帰る回数を記録してみました。

第 1 回目 9:54～10:04 4 回

第 2 回目 10:30～10:40 9 回

小枝を持ち帰る所は NEXT21 の西隣にある浪速鋼材ビルで、屋上付近に巣を作っているようでした。

尚、樹上に巣をつくるキジバトも小枝を巣材に使っている。NEXT21 にはキジバトが巣作りできる樹冠があるので、キジバトが繁殖してくれることを楽しみにしている。

##### 第 1 回目

9:54

9:58

10:02

10:04

##### 第 2 回目

10:31

10:32

10:33

10:34

10:35

10:36

10:37

10:37

10:39

## 4. アゲハ(ナミアゲハ)

### 1. チョウが生息するために

4月からNEXT21で野鳥を中心に生きもの調査を開始したが、その一環としてチョウ(蝶)も調査している。

チョウが生息するためには

①幼虫(いわゆる青虫)の餌とな

る植物(=食樹 or 食草)がある

②成虫(蝶)が吸蜜できる草花・樹木の花がある  
の両方が必要になる。



7/2 アベリアで吸蜜中のアゲハ

### 2. NEXT21 のチョウ



7/2 カラタチに産卵中のアゲハ

NEXT21で最も多かったチョウは**アオスジアゲハ**、次いで**アゲハ(ナミアゲハ)**でした。アオスジアゲハの食樹はクスノキ、アゲハの食樹はナツミカンやカラタチなどミカン科の木なので、NEXT21は幼虫&成虫の餌がともにある、繁殖適地である。

ナツミカン・カラタチでアゲハの産卵を観察したが、羽化(蝶に変身)した後残された蛹の抜け殻が、ナツミカンの木に残っていた。

また成虫(チョウ)の吸蜜活動は、アゲハがヒラドツツジ・アベリア、モンシロチョウがランタナなど、何回も観察できた。



7/2 ナツミカンに残っていたアゲハ抜け殻



## 5. ネジバナ・ラン科・風散布植物

### 1. ネジバナの種子は風で

NEXT21 の屋上庭園には植栽された樹木の他に、種子が鳥に運ばれた鳥散布植物、種子が風で飛んできた樹木や草花(風散布植物)が生育している。そんな中1輪ではあるが、7/2 ラン科ネジバナの花が確認できた。

一般にラン科の種子は小さく、風で飛んで繁殖地を広げるが、ネジバナの種子サイズは長さ 0.3mm、太さ 0.06mm とのこと、NEXT21 北側の大阪城公園か難波宮跡公園に咲いたネジバナの種子が、風に吹かれて飛びあがり、NEXT21 の屋上庭園まで飛んできたと推定される。

ネジバナは野草ではあるが、百人一首に「もじずり=縋摺」として歌われているなど、昔から花の形が愛でられてきたことがわかる。



7/2 屋上庭園西側に咲いていたネジバナ



### 3. キリの種子も風で

NEXT21 屋上には植栽された筈がないと言われるキリが大きく育っていたが、今年は主幹が枯れてしまった。キリは種子の周りに翼と呼ばれている羽がついた風散布植物なので、風で飛ばされた種子がNEXT21 に到着し定着したものと推定される。